

日銀の国債オペレーションによるイールドカーブへの影響

駒澤大学大学院 勝田佳裕

1.はじめに

本報告では、日銀による量的緩和政策の下でのオペの概要と日銀保有国債の残存期間構成をふまえ、日銀の国債オペがイールドカーブに与えた影響を実証的に分析する

2.日本銀行による量的緩和政策とオペの概要

オペの概要：オペ手段、オペ手段の変遷、オペ残高の推移

量的緩和のための主要な手段である国債買入オペ

アメリカ及びイギリスにおけるオペと日銀のオペとの比較

3.日本銀行が保有する国債

日銀が保有する国債（10年債）の銘柄構成

日銀が保有する国債（10年債）の平均残存期間一ゆるやかに短期化しているがなぜかオペでどの銘柄を購入しているか一期近債か新発債か

オペによる国債買入額と買入銘柄の残存期間

アメリカ及びイギリスとの比較：保有する銘柄の構成、残存期間の傾向など

4.日本銀行による国債オペと長期金利への影響

①イールドカーブの比較 特定銘柄に対する極端な買いの発生前後

売買対象を直近発行2銘柄を除くものに拡大した前後

②国債オペとイールドカーブの変化との関係を計量経済学的に分析

5.小括

参考文献：

勝田佳裕、「量的緩和政策と長期国債の買いオペレーション」、駒澤大学大学院『経済学研究』、第34号、2005年3月

代田純 勝田佳裕、「国債オペに関する日本とイギリスの比較」、『証券経済研究』、第50号、2005年6月

勝田佳裕、「国債管理政策と日銀によるオペ及び国債の公的引受」、駒澤大学大学院『経済学研究』、第35号、2006年3月